

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
 明るく思いやりのある生徒
 健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第 13 号

平成30年10月 4日発行

須賀川市立第二中学校

☎75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

ついに野球部がキターッ！ 団体7種目、個人10種目を制覇

岩瀬支部新人総合体育大会は、2日目に雨天順延になった種目もあり、9月26日（水）から28日（金）までの3日間の開催となりました。引退した3年生の実績を引き継ぎ、さらにそれを超えようと練習に励んできた1、2年生が、それぞれの会場で大勢の家族の皆さんの声援を背に、熱戦を繰り広げました。



直前の須賀川信用金庫理事長杯野球大会で優勝した野球部は、初戦から決勝戦まで危なげのない堅実な試合運びで、優勝に輝きました。昨年度から今年度にかけて現3年生を中心にしたチームで確実に力をつけてきたと評価していました。ここにきて成績がともなってきたことを選手とともに喜びたいと思います。私の素人目にも、一人一人の技術はしっかりしていると思いますので、このまま練習で技術に磨きをかけながら、走力を高め、体幹を鍛え、まだまだ勝負強さを発揮できるのではないかと、つい欲が出てしまいます。

0. 1秒速く動けることであと一步のボールに追いつくことができたり、バットの握りがほんの少ししっかりただけで相手のグラブの先を打球が抜けたりするということが増えるのではないのでしょうか。このことは、どんな競技についても言えることです。種目の特性に合わせて、人が嫌がる地道なトレーニングに自ら考えて取り組んでほしいと思います。

卓球部は支部大会では、安定した実績を残しています。しかし、県中大会では厚い壁に阻まれています。



“One for all. All for one.” という名言があります。これを「全体のためには個人の力量の向上が大切だ。全体で成し遂げることが、個々人の力量を生かすことになるのだ。」と解釈した人がいます。まさに卓球部には、そういう状況にあるという決意を期待したいと思います。

どの部活動においても、どの選手にとっても勝負の結果には悲喜こもごもの思いが伴ったはずです。これから種目によっては上位大会に挑むようになります。しかし、来春以降の大会が本番なのだという展望をもって「正しい練習」を重ねていってほしいと願っています。



応援態度にファインプレー賞

【団体競技】

体操部男子 優勝
 剣道部男子 優勝
 同 女子 2位
 柔道部男子 2位
 バレーボール部（女子） 3位
 サッカー部 3位
 ソフトボール部（女子） 優勝
 バスケットボール部男子 2位
 同 女子 3位
 バドミントン部女子 3位
 同 男子 3位
 卓球部男子 優勝
 同 女子 優勝
 野球部 優勝
 ソフトテニス部男子 優勝
 同 女子 3位

【個人競技】

剣道：男子 2位 飯塚 幸太②
 同：女子 優勝 黒津あさひ②
 柔道
 男子50kg級 優勝 加藤 颯野②
 男子60kg級 優勝 石山 右京①
 男子66kg級 優勝 岡島 直輝②
 女子48kg級 優勝 五十嵐桃佳①
 バドミントン
 男子W 優勝 上妻浩聡②・大橋琉人①
 ソフトテニス
 男子 優勝 佐藤良吹①・吉田 航②
 男子 2位 鵜沼琉愛②・根本遼河②
 男子 3位 関根巧真②・安田 舜①
 女子 2位 薄葉ひとみ②・遠藤柚葉②
 卓球
 女子S 優勝 齋藤 真衣②
 女子S 2位 緑河 煌②
 女子S 3位 野崎 千聖②
 女子S 3位 滝田 裕夏②
 女子W 優勝 橋本野乃佳①・井野元遥奈②
 女子W 2位 高島萌梨②・吉田桜彩②
 女子W 3位 鈴木絵里②・鈴木遥菜②
 男子W 3位 矢吹亮将②・三瓶透真②
 体操 総合優勝 橋本 祐亮②
 総合2位 内藤 大地②
 総合3位 渡邊 日向②

○に数字は学年。



生徒会もバトンタッチ 新会長に小川巧真くん



任命式の前ですが、9月14日(金)に行った生徒会役員選挙の当選者が公表されましたので、お知らせします。

■会長	小川 巧真 (2-7)
■副会長	小橋 夢冬 (2-4)
	山崎 雄登 (1-6)
■事務局長	荒川 愛実 (2-4)
■事務局次長	吉村 彩乃 (1-2)
■会計	黒津あさひ (2-4)
	有我 昭洋 (2-5)
■会計監査	安齋 朴音 (1-1)
	菊地紳之介 (1-3)
	橋本 雄正 (1-8)

()内は、「学年-学級」です。

9月14日(金)に行われた立会演説会では、立候補者とその応援者が、思い思いに公約を述べ、立候補者の人となりを語ってくれました。

新役員は学校をよくしたいという思いで公約を述べました。それが実現しないときに、新役員のせいにして、無関心を装ったりしないという生徒の集合としての須二中生徒会であってほしいと思います。

なお、任命式は10月10日(水)に行われ、10月19日(金)の文化祭終了後から、新役員に活動が引き継がれます。

各種表彰の記録

- 全県南中学1・2年生ソフトテニス大会
男子の部 1位 吉田 航②・佐藤良吹①
- 福島県中学校水泳選手権大会
2年女子50m平泳ぎ 1位 有我由宇②
1年男子50m自由形 3位 井上開智①
- 福島県たなばた展
たなばた賞 大山奈々花③
- 全日本卓球カデットの部県南大会
中1以下女子シングルス 3位 橋本野乃佳①
女子ダブルスの部
2位 緑河 煌②・齋藤真衣②
男子ダブルスの部
3位 藤田亜煉②・大山周太郎②
- 福島東陵杯ソフトボール大会
1位 ソフトボール部
- 東北新人野球大会岩瀬地区予選
2位 野球部
- 県中・県南新人陸上大会
共通男子混成競技
3位 橋本祐亮②
共通男子走り幅跳
3位 庄島唯人②



○に数字は学年です。

吹奏楽部再度県大会に挑戦

岩瀬支部音楽祭(第2部合奏)で金賞獲得

9月21日(金)、須賀川市文化センターで行われた岩瀬地区音楽祭(第2部)、合奏祭で吹奏楽部が金賞を獲得、併せて県大会出場校(中学校2校)にも選ばれました。

顧問も生徒もこの大会にかける意気込みには並々ならぬものがありました。学校を出発するとき、石井教諭は、生徒にこう呼びかけました。

「音楽はステージ上の演奏だけではありません。演奏はもちろん、会場でのあいさつやマナーなど、コンクールメンバーもサポートメンバーも一つになって須賀川二中の音楽を響かせましょう。」

会場では、他の学校の児童や生徒に対し、必ず先にあいさつをする本校生徒の姿がありました。ケースから楽器を出して準備をするとき、ケースに楽器をしまうとき、床に正座をして心を込めて楽器を扱っています。さらに、サポートメンバーのある男子は、先輩のサブバッグを8つも持って会場に移動していきます。その男子にすぐに声をかけて2つ引き受けた女子生徒も、見ると5つのバッグを持っているのです。

このような心掛けをはぐくみながら、心を一つに練習してきた演奏が充実しないはずはありません。

「ゴールド。金賞」のコールの後の緊張。そして、「県大会出場」がアナウンスされた生徒たちの喜び。それが、私の全身に覆いかぶさってくるかのようでした。

演奏後、「演奏の初めから終わりまで楽しめたかい？」と声をかけると、大方の生徒は笑顔でうなずきました。でも、全員ではありませんでした。県大会では、全員うなずけるといいなと願っています。



この学校だよりは、本校HPからもご覧いただけます。